

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- つかう責任: エシカル消費とは?
- つくる責任: ユニバーサルデザイン
- 農業分野のサーキュラーエコノミー 脱プラスチック

2025.3

Vol.32

●つかう責任: エシカル消費とは? 「倫理的な」「道徳的な」わたしたちの消費行動について



改めてグリーン購入法について復習してみましょう。循環型社会の形成のためには、「再生品等の供給面の取組」に加え、「需要面からの取組が重要である」という観点から、平成12年5月に循環型社会形成推進基本法の個別法のひとつとして「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」が制定され、国等の公的機関が率先して環境物品等(環境負荷低減に資する製品・サービス)の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指しています。また、国等の各機関の取組に関するもののほか、地方公共団体

事業者及び国民の責務などについて示した法律に対して、消費者目線として、SDGs採択後よく耳にするようになったエシカル消費について取り上げてみました。エシカル消費は大きく「環境消費」「社会消費」「地域消費」の3つに分かれます。

○環境: 水質汚染や資源の使いすぎなどによる環境破壊

「地球」というスケールで社会を考えると、私たちが多様な動植物と共存していることや多くのエネルギー資源、原材料、食料品などを海外から輸入していることに気付かされます。大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしによって、地球温暖化や海洋汚染などが発生し、生態系が破壊され、エネルギー資源が減少し、異常気象による農作物への被害などが深刻化しています。

○人や社会: 社会的に立場の弱い人たちを低賃金で働かせることや、児童労働などの社会問題

おやつの時間に食べるチョコレートや、毎日身につける衣類の材料となるコットン(綿)など、私たちの身の周りにある食品や製品には、原材料が作られ、加工され、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。商品やサービスの裏に隠されたストーリーに、思いを巡らせてみませんか? 人・社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人々が持続可能な生活を送れるようになります。

○地域: 地産地消では生産物を地域以外に送る際の二酸化炭素排出や地域経済の損失。このような問題を解決に向かわせると言われています。エシカルの考えを持ち、商品の生産過程や、生産に関わる人たちの生活背景にまで目を向けることで、人や環境に配慮していない商品を買わないという選択ができるようになります。遠方で生産・製造された食材や商品がインターネットを通じて、いつでもどこでも好きなだけ購入できるネットワークが私たちの生活の中に浸透しています。一方、私たちの住む日本は、山、森、川、海といった豊かな自然に加え、多様な気候や地形の影響もあり、全国各地でその土地特有の産物が作られたり、様々な地域社会が育まれたりしてきました。「簡単」、「便利」に購入できることは魅力的ですが、「地域の振興」もお買物では大事な視点の一つです。地元の本屋さん、電器屋さん、肉屋さんなどでお買物をしてみませんか? 地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を「買う」ことは、地元を「応援する」ことにつながります。

日々の暮らしの中で、「もったいない」と思うことは何ですか? 地球環境の現状や問題を「自分には関係ない遠い話」と見過ごすのではなく、より良い未来に向かって、一步を踏み出しましょう。

エシカル消費は「社会が豊かなときに、お金に余裕がある人が実践するもの」ではありません。一人一人が、思いやりを持った消費行動を心掛けて、商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるようなモノやサービスを利用することが、次の世代へバトンをつないでいく私たちの役割です。

買うときに考える! ・必要なものを必要な分だけ購入する
・グリーン製品やエコマーク付き商品を選ぶ ・フェアトレード認証商品
・資源保護の認証がある商品、・CO2(二酸化炭素)削減の工夫をしている商品を購入するなど、まだまだ出来る事がたくさんあります。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために、今から行動しましょう!



●つくる責任:ユニバーサルデザイン



ユニバーサルデザイン(英: universal design、UD)とは、文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの個人の違いにかかわらず、出来るだけ多くの人々が利用できることを目指した建築(設備)・製品・情報などの設計(デザイン)のことであり、またそれを実現するためのプロセス(過程)です。

「年齢や能力、状況などにかかわらず、デザインの最初から、できるだけ多くの人々が利用可能にすること」がコンセプトです。バリアフリーが、さまざまな利用者を考慮せずにつくってしまい、結果として生じた障壁(バリア)を「後から除去する」という不合理を、「最初から誰にとっても使いやすいデザインで」解消するというロナルド・メイスの考えが反映されたものです。

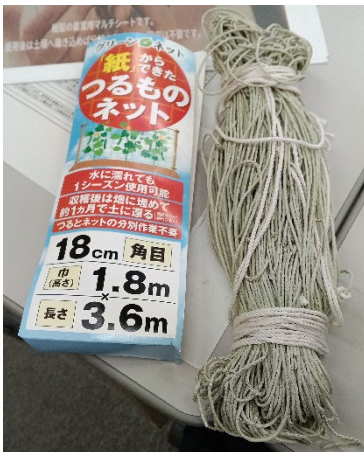
日本国内においては「バリアフリー」が不十分なうちに「ユニバーサルデザイン」の考えが紹介されたため、両者はしばしば混同されており、必ずしも正しく理解されているとは言えない点もあります。同様の概念として、ヨーロッパにはDesign for Allという概念があり、英国からは、Inclusive Designも提唱されました。現在、提唱されているSDGsの中の”No one will be left behind”(誰も取り残さない)も、考え方としては近い概念といえるのです。

★以下、ユニバーサルデザインの7原則について列挙します。

- ・どんな人でも公平に使えること。(Equitable use / 公平な利用)
- ・使う上での柔軟性があること。(Flexibility in use / 利用における柔軟性)
- ・使い方が簡単で分かりやすい。(Simple and intuitive / 単純で直感的な利用)
- ・必要な情報がすぐに分かること。(Perceptible information / 認知できる情報)
- ・簡単なミスが危険につながらないこと。(Tolerance for error / うっかりミスの許容)
- ・身体への過度な負担を必要としないこと。(Low physical effort / 少ない身体的な努力)
- ・利用のための十分な大きさと空間が確保されていること。(Size and space for approach and use / サイズと空間)

●脱プラスチック農業にむけて！環境にやさしい農業資材を知ろう 持続可能な農業のために

近年、プラスチックごみによる海洋汚染が国際的な課題として注目されるなか、農業生産においても、農業用ハウスやトンネルの被覆資材、マルチ、畜産のサイレーラップのほか、肥料成分を合成樹脂等の膜でコーティングした被覆肥料など生産資材としてプラスチックを使用していることから、プラスチック問題に対しても適切に対応することが必要とされています。海洋プラスチック問題の解決に向けては、あらゆる主体がそれぞれの立場でできる取組を行い、プラスチックと賢く付き合うことが重要とされており、これまでも、資材メーカーで構成する団体等により、使用済みの農業用フィルムの適正処理や生分解性マルチの利用促進、被覆肥料の被膜殻の流出防止など、海洋プラスチック問題の解決にも資する取組が自主的に行われてきています。



みやぎGPNの会員日本紙パルプ商事(株)北日本支社様より紙パルプを利用しポジティブに課題解決に取組む事例を、ご紹介いただきました。☺写真は「つるもの」を栽培するときに必要なネットを紙素材で商品化したものです。生分解性の商品も増えてはきましたが、そもそもバイオプラスチックの原料は糖原料、油脂原料、非可食原料などです。糖原料にはサトウキビ、トウモロコシ、キャッサバが使用され、油脂原料にはパームヤシ、大豆、ヒマが、また非可食原料にはバカス(サトウキビ搾汁後の残渣)、稲わら、ネピアグラスなどの植物が使用されていますが、今すぐ使える紙パルプに期待が膨らみます。日本で使用される黒マルチのうち生分解性マルチは全体の一割にとどまり、年間36,000tが廃棄処分されているのが現状という事です。紙パルプを利用したマルチが開発されました。ポリ性マルチに比べ地温の上昇が、抑えられるということです。今後、紙パルプの動向に注目していきたいと思えます。紙製マルチシートについては☺こちらをご覧ください。

[OJISASTENAMULCH\(農業用 紙製マルチシート\)](https://ojif-tex.co.jp/product/use-choose/material/1125-mulch.html)

<https://ojif-tex.co.jp/product/use-choose/material/1125-mulch.html>



■情報発信 (毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!
☺こちらからどうぞ

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>

■今年度より、会員の皆様の情報を広く伝えていくために「みやぎGPNメール通信」を発行しています。新製品、新サービスに加えイベントなどの情報をお寄せいただき、オールみやぎで持続可能な社会実現にむけ進んで参りましょう。